

ERCP 関連手技に対する鎮静、鎮痛の安全性に関する検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

内視鏡的逆行性膵管胆管造影 (Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatograph:以下、ERCP) 関連手技は内視鏡診療の中でも侵襲の高い処置です。診療ガイドラインに沿った鎮静鎮痛薬の使用行っていますが、まれに合併症が起きることがあります。鎮静鎮痛薬の安全性に関する報告例は少ないため、当院の診療実績における鎮静鎮痛薬の安全性の実態を調査し、合併症を起こさないための対策を検討します。

研究の対象となる方

2019年1月1日～2021年12月31日にERCP関連手技を受けた方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長体重、既往歴、アレルギー歴、認知症の有無、入院前ADL、EPCR関連治療情報 等

研究予定期間

研究実施許可日～2022年10月29日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 消化器内科 前田大樹

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 消化器内科 前田大樹

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)